

芝のささやき

猛暑の中で、4役は大忙し（嵐山CCから）

埼玉県の嵐山CCでは男子15～17歳の部の競技があったが、猛暑のプレーで5人が熱中症にかかり途中棄権という騒ぎもあった。幸い嵐山CCの競技運営委員長だった吉田^{ひろあき}裕明さん（51歳＝嵐山CC代表取締役）が医師であったことから適切な応急手当を施し、競技終了後には棄権した5人全員は元気に帰宅した。吉田さんは会場になった嵐山CCの社長であり、ハンディキャップ1という腕達人。競技を主催した関東ゴルフ連盟の広報委員でもある。この日は夜明けと同時に倶楽部に詰め、ゴルフ場側に立って従業員にテキパキと指示を出したり、熱中症にかかった競技者に対しては率先して応急処置を施した。『睡眠不足や緊張感に襲われての結果でしょう。すぐ元気を取り戻しますよ』と診断したが、吉田さんの肩書きは医師、コース側の社長、運営委員長、KGA広報委員という一人4役。この日ばかりは大勢いる委員の中では誰よりも大忙しだった。